

毎年4月に巡ってくる「結成記念例会」は第二例会(後半)と決まっていたが、本年は「第61回年次大会＝当クラブの例会併設」が4月25日(土)に予定されているため 第一例会となりました。定刻通り幹事L飯室の開会宣言とご来賓入場を得てスタートしました。会長L吉田のゴングに続き、国歌斉唱・「ライオンズ・ヒム」合唱の運びとなったが、何時ものCDでは無く、エレクトーン奏者が“下手な歌”に合わせてくれた様で、皆は歌い易い感じがしたのではないかと思います。



会長挨拶では、当クラブでは最近「こどもあんしん館への寄贈」「祇園祭ゴミ分別」「うずら野文庫」「子供の空手」など、小規模ながら色々と継続的な奉仕活動を行っているが、これらを出来る限り積極的に続けて、35周年・40周年を迎えたいとの所信が述べられた。ご来賓の挨拶では スポンサークラブの京都みやこLCの会長のL勝村は“例の如く”子クラブである京都うずら野LCのこれまでの活躍や実績を褒めて頂いた。多分に《ヨイショ》が入っているのでは有るが 有り難いし素直にうれしいものである。更に、過日の京都マラソンで 当クラブのL吉田が参加して走っていたのを見て「若くて元気が有るクラブ」とのイメージを持って頂いたらしいがこれも当クラブのカラーを端的に表して頂いた感がしました。



4月の「お誕生日のお祝い」では、L麻田・Lヨシ田(道)・L増井がそれぞれお祝いの品を会長より受け取られた。おめでとうございます！因みに、司会者より「何回目の誕生日？」などと野暮な質問がありましたが全く“無視”されました。(その他の4月生まれのL藤井・L清澤は欠席)  
「乾杯の音頭」は2R2ZのZCPであるL増井より頂いた。この時、地区からの方針の一部の伝達がなされた。各クラブに対して「近い将来行われる東京オリンピック&パラリンピックに参加して活躍してくれるかも知れない若年層への応援となるような活動が望まれる」との事でした。



食事・歓談の適当な途中でTTタイムとなり、テールツイスターL中野が登場してくれました。代表として、ZCP及びSPクラブ&当クラブの会長・幹事の5名に対して質問を投げかけて、○か×を答えて貰うらしい。例えば『LCの行事を口実に出掛けて他の用事に廻った事が有る』などの紛らわしい設問である。問題はその前に他のメンバーにそれぞれの代表者の答えを予想して、当ててもらうのが趣向であった。参加者全員を巻き込むやり取りになるため丁度程よい“ヒネリ＝ツイスト”であったと思われる。お開きに近づき、SPクラブの幹事L尾宮より、ライオンズ・ローアで締めて頂き、第二副会長L西村からのお礼の言葉にて和やかな裡に例会は無事に終了した。それぞれ、お疲れ様でした。